

市民との意見交換会会議録

報告日及び報告者 H30.11.7 根本七太

1. 日時 平成 30 年 11 月 7 日（月）午後 7 時～午後 8 時 30 分
2. 場所 白沢公民館 第 2 研修室
3. 出席議員 渡辺由紀雄、石橋今朝夫、三瓶幹夫、
根本七太、渡辺善元、渡辺忠夫（6 名）
4. 出席市民 15 名
5. 会議経過
【午後 7 時開会】
 - ◇ 渡辺（善）議員 開会宣言
 - ◇ 渡辺議長 挨拶

（出席議員自己紹介）

【意見交換】

2 班に分かれて意見交換を行った。

《グループ 1》

進行：渡辺忠夫議員 意見交換：渡辺善元議員 記録：根本七太議員

(1) これからの地域のあり方・活性化について

①子育て・学校教育について

問（市民）

白岩小ですが、全学年一クラスで昔と比べ半減している。稲沢地区は特に子どもの数が少ない。地震の要因もあるが市としてどのような対策をしているのか。

答 渡辺（善）議員

少子・高齢化は全国的な課題で、私達も若い人達が生活しやすいように環境改善に取り組んでいる。今日お配りしたガイドブックにもあるように議会でも執行部と協議し取り組んでいる。

しかし、容易ではない。皆さんから何か課題を克服する効果のある案はないかお尋ねしたい。

問（市民）

区長の中には若い区長もいる。待機児童ゼロと言うが、実際には預かってくれるところがない。ある保護者の話では、保育所に申し込むために話を聞きに行ったら、「今のところは入れません」と言われたそうだ。このような状況では子どもは作れないと言っていた。県内で住み良さランキング一位と聞

くが、現状では子どもは増えない。市全体で子育てをバックアップして欲しい。

答 渡辺（忠）議員

具体的に伺いたい。

問（市民）

待機児童ゼロと言っても、実際に入れたい人がいるので これらの解決をして欲しい。

問（市民）

家に子どもの面倒を見る人がいると、保育所に入れれないと言う制限があって、中々思う様にいかない。

問（市民）

私も所得制限があり、パートで5～6万円取ってくるなら勤めない方が良いと思った。

答 渡辺（忠）議員

最初の子供が5,000円、税金の額でランク付けがある。

答（市民）

私の孫のことだが、4番目の子供が、大変に金がかかり切実な問題だ。

問（市民）

ゆうゆうクラブや放課後児童クラブができて、働ける環境が整ってきた。それに伴い、少子化対策によって以前より子どもが増加傾向にあり、嬉しいことである。私は、地区公民館長をしており、公民館使用において気付いたことがある。一つは、物を置く場所が不足しており、建屋の改築が出来ないものかと考えている。しかし、金のかかることであるから、スーパーハウスを建て、その中に備品を入れることで解決できるのではないかと思っている。もう1件は、公民館前の広場や駐車場で児童達が雨上がりの水溜まりで遊び、汚れてしまうことがある。舗装することで改善が図られれば、保護者も安心して預けられるし、公民館を利用する人達にも喜んで頂けると思い要望する。

答 渡辺（善）議員

かけ声だけでは駄目だ。人が増えれば、それなりの設備を整えて活用頂くことが大切と思う。

問（市民）

ゆうゆうクラブなどで公民館を使用しているが、各小学校の空き教室を利用して子供達を見ればよいのではないか。

答 渡辺（善）議員

条例で使えない状況にあるのでは。

答 渡辺（忠）議員

学校の管理上の問題だと思う。

問（市民）

市議会議員の方に頑張って貰いたい。

問（市民）

幼稚園からゆうゆうクラブなどに移動する際に、大通りを越えることもあり、危ないと聞く。改善策は

答 渡辺（善）議員

白岩もその様な事があった。小学校から関根の公民館まで歩いた。学校の空き教室の利用などについては、調べて皆さんに報告する。

問（市民）

各小学校の児童が減ってきている中で、学校の統合について議論はあるのか。

答 渡辺（善）議員

今年の 9 月定例議会の一般質問である議員が、児童が減少する小学校の統合について質問した。教育長より答弁が有り、現段階で統合は考えていないとの事である。

問（市民）

今後、子供の減少はいつまで続くのか。

答 渡辺（善）議員

岩根小学校もみずきが丘団地が造成されたことにより、児童の増加が続いたが、来年がピークで、その後減少すると言われている。

答 根本議員

参考までに、和田小学校は少ないクラスで 8 人というクラスもあるが、今年度、幼稚園に入園した児童は 23 人いた。増えた要因は、分からない。来年度はまた少なくなるようだ。

問（市民）

今、我が国は豊かな社会になっている。そうしたことが、自由で気ままな社会に作られてしまった。万物全て、生あるものは子孫を残すことを大義にしているが、今日の日本人は大義を忘れ、自己中心、自由気ままに生きている。教育の大切さを強く感じ、教育のあり方を考える時が来ていると思うのだが。

答 渡辺（善）議員

本市でも結婚適齢期を過ぎてもチャンスのない人達のために、婚活事業に取り組んでいる。成果も出ており市民から多くの期待が寄せられている。若い人がいないのではなく、結婚しないのに問題が有るのではないかと考える。

問（市民）

リーマンショック以降、経済に厳しさを感じる。こうしたことが、結婚できない状況にしていると思う。近くに働く場所があれば勤務し、住宅も建てられるが、無いと生まれた所から離れなければならない。是非近くに働ける職場が欲しい。

答 渡辺（忠）議員

国民年金は僅か月額 6 万円で、厚生年金は最高で 20 万円である。稼ぐことは大切で、将来を考えると働ける場所が必要である。

答 渡辺（善）議員

本市もこれまで企業誘致に努力し、工業団地を分譲し空いていた区画も借地契約を除き全て完売している。しかし、交通の要衝で便利であるため、物流会社が多く、雇用の創出には至っていない。大きな製造業企業の誘致に努めているが、企業へオーダーメイド方式での営業戦略のため中々企業に腰を上げて貰い無いことも現実である。

問（市民）

これまで幼稚園は園長がそれぞれの幼稚園にいたが、今年度から和田、白岩、糠沢各幼稚園を 1 人の園長が見ることになり、園児の保護者から何故なんだろうと言う声が出ている。園長 1 人であることから、入園式の日程をずらすとかで対応しているが、これで良いのだろうか。議員皆さんの考えを聞かせて下さい。

答 渡辺（善）議員

待機児童をゼロにするために保育所や幼稚園は必要であるが、保育士が不足しているため、三つの幼稚園を総括して園長を 1 名とした。現在正職員が少なく、臨時職員が多くいる。割合としては、保育士の 6 割が臨時職員である。予算が無くて出来ないのではなく、正職員の定数にこだわっている。正職員で募集すると人は集まるのに私たちは理解できない。この件は、執行部に掛け合って改善したい。

②くらしの安心・安全について

問（市民）

防災無線についてお尋ねする。このところ、新潟県で子どもが殺されたり、福島市で刃物をもって歩いていたりなど、不安なニュースが報道されている。私たち子どもの保護者には、学校から情報提供があるが、現状では周囲の人には伝わらない。防災無線は、家の中でも外でも聞こえるので、安全安心のためにも早期設置をお願いしたい。

答 渡辺（善）議員

現在稲沢地区で取り付けを行っている。10 月から取り付けしているので

徐々に取り付けられる。留守の世帯も多く有り、時間を要している。今回は、各企業や事業所等にも設置することになっている。

問（市民）

10月に完了と言われたが、出来ていない。

答 渡辺（善）議員

指摘いただいたことは、執行部に伝えさせていただく。

問（市民）

合併前は、火災が発生すると防災無線で現場名を知らせたが、現在は、大字名は言うが現場名は言わない。白沢村当時のように現場名を言うことで、関係ない人は現場に行かなくなることから、かえって現場の混乱は無くなるのではないかと考える。要望とさせていただく。

答 根本議員

私も執行部に質問した時がある。その時に言われたのが、現場名を言うと消防車よりも先に現場へ行き、消防活動の妨げとなり、消火活動に支障が起きた経緯もあり、現在は、常備消防の初期消火が重要なので大字名のみに行っている、と言われた。それも一理あると思い、納得した経緯がある。

問（市民）

このところ異常気象で災害が多く発生している。白沢地区は、どちらかという山間地域にあり、これまで土砂災害や河川の氾濫などに遭遇してきた。災害の発生が予想される場合、市の対応体制はどの様になっているのか。

答 渡辺（善）議員

台風などが予想されると職員は待機している。さらに、避難所には市の職員が常駐している。現在、自主防災組織の組成を推進しているので、行政区ごとに組織作りを進めてほしい。

発言（市民）

防災組織を作って二年目になる。防災訓練を実施している。設立時は60名ほどが参加をしていたが、今年の参加人数は半分だった。来年は意識を強くしてやりたいと思っている。

問（市民）

災害が起きた場合、どこに相談すれば良いのか、議員さんに相談してよろしいのか。

答 根本議員

災害や道路の維持管理については、区長から白沢総合支所の所長、もしくは、産業建設課長へ報告・相談された方がよいと思う。議員には、あくまでも何度お願いしても相談に乗ってもらえない等の場合に相談してほしい。

答 渡辺（善）議員

区長に配られている行政連絡簿を使って要望してはいかがか。

問（市民）

安全対策について2つ伺う。1つは、放射能除染はやっていただいているが、それを撤去するのはいつなのか。2つ目は、街路灯の設置を希望するところに設置して欲しい。

答 渡辺（善）議員

仮置き場の件は、現在、中間処理施設へ搬出している。受け入れ側の要請で市町村への配分が決まっている。今のところ、いつまでに完了するとは言えないが、もう少しかかると思う。街路灯はこれまで以上に白沢地区は設置されている。今後、必要な箇所には区長さんを通して各大字地区の防犯協会地区支部に要望してほしい。

問（市民）

防犯灯設置で、地区の設置要望箇所と異なる場所に設置された。

答 根本議員

和田の防犯協議会が主体となって地区の住民の要望に対処している関係上、私の方から会長に伝えておく。

③町の賑わい創出について

問（市民）

岩角農村公園の整備についてお尋ねします。公園が草で覆われ利用しにくい状態です。賑わい作りは、環境整備が必要です。市としての取組をお尋ねします。

答 根本議員

過日この件である方から要請受けました。私も現場を確認し、傷んでいる階段の修繕、公園内の環境整備について御願いしてきました。予算が伴うため早急には出来ませんが、事故防止のため階段には「使用禁止」の札を掛けます。最後に一点要望も言われました。少々地域の方々にもご協力頂ければ予算要望もし易いとの言葉でした。これらは既に伝えてあります。

(2) その他について

問（市民）

白沢村民グラウンドのバックネットの修繕。

問（市民）

トイレの清掃。（便器が汚い）

問（市民）

照明器具の老朽化で照明が暗い。

問（市民）

ソフトボールで全国大会に出場するなど素晴らしい成果を耳にするが、充実した予算面での支援が必要と思う。

問

ドリームラインの紫陽花道路周辺法面が雑木で覆われ、通行車輛にも影響が出ている。紫陽花周辺の草刈りは地域づくり振興会で定期的実施しているが、被さる雑木の伐採には至りません。冬期間の路面凍結なども予想されますので、安全のため早期に取り組んで頂きたい。

《グループ 2》

進行：渡辺由紀雄議長 意見交換：石橋今朝夫議員 記録：三瓶幹夫議員

(1) これからの地域のあり方・活性化について

①子育て・学校教育について

問（市民）

私は孫が3人いる。みんな郡山で産んだ。本宮市に産婦人科がない。小児科医は、ないわけではないが、郡山市へ行ってしまう。

答 渡辺議長

本宮市に限らず、安達広域圏に産婦人科が一つもない状態である。安達地方広域行政組合議会でも、このことについて国県に強く要望活動している。医師の確保がままならない。安達地方全体の問題となっている。幸いにも福島第2選挙区の根本匠代議士が厚生労働大臣に就任する。これを機に強く働きかけをする。どうしたらよいか真剣に考えて取り組んでいく。

問（市民）

保育士の人数確保はどうなっているのか。

答 渡辺議長

保育士は不足している。年に2回も3回も採用試験をするが、なかなか集まらない。

問（市民）

私の妻も幼稚園・保育所でお世話になった。保育士は、いっぱいいる。臨時やパートは給与が安いからやめてしまう。臨時やパートはどうなっているのか。

答 渡辺議長

これは議会でもたびたび質問している。おととしから臨時保育士の待遇を改善している。4・5年前より、数段とは言えないが、よくなっている。少子

化により、全員正職員ということには、なかなかならない。これは本宮市に限らず全国の共通の課題だ。

②くらしの安心・安全について

発言 渡辺議長

本宮は、東洋経済新報社による「全国住みよさランキング」で10年連続県内1位である。くらしの安心・安全が高く評価されていることが、高順位に押し上げている。

問（市民）

配偶者が亡くなり、一人暮らしをしていた女性のところに、50歳から70歳くらいの男性と一緒に住んでいる。駐在は知っているようだ。地域の安全・安心のためにも心配になっている。このような状況にあるが、区長として、「あんた誰ですか」とは言えない。どのように声をかければ良いか。

答 渡辺議長

行政としては何も言えない。プライバシーに関することだ。誰と住むのも自由だと思う。これは、民生児童委員が一人暮らしの家を訪問して、生活と暮らしの状況を伺うことで確認する方法が良いのではないか。

問（市民）

昨年、消火器訓練をやった。若い人が多く参加した。1番の問題なのは、みんな勤めているため、日中は地域に高齢者しか残っていない。何か起きた時に安否確認をできないことに困っている。

答 渡辺議長

市に防災アドバイザーがいる。どんどん活用してほしい。自主防災意識を高めてほしい。市の職員を呼んで話を聞いてほしい。

問（市民）

地区の総会に来てくれるのか。

答 渡辺議長

要請があれば行く。是非総会に呼んでほしい。自主防災組織のアドバイスを受けることができる。南消防署職員も来て話をしてくれる。

問（市民）

自主防災組織はどうですか、というから作らない。かえってやりたくなくなる。そうではなくて、作りましょうと呼びかけては。今からでは遅いのか。

答 渡辺議長

遅くはない。是非作ってほしい。白沢地区で作ってみては、と話があった。人口8万～10万人の自治体で、自主防災組織の組織率100%であると言うと

ころを研修して来た。組織は小さい方が効率的だ。防災アドバイザーを活用してほしい。

問（市民）

積雪により樹木が倒れ、道路をふさいでいて困る。また、日陰で春まで雪が解けない。地域で伐採するよう通達があるが、高齢化によりむずかしい。樹木の処分のしかたを市の方で援助してほしい。

答 渡辺議長

危険を伴うようなことは、行政へ連絡して対応していただきたい。一般の方は手をださないこと。市では伐採木破砕機を購入する計画がある。仁井田・白岩線高松地内に3箇所危険なところがある。

のり面を10m位バックして土を取り除くことにより、日あたりがよくなる。あまり予算のかからない方法だと思う。

草刈り・伐採作業等は、これからの新しい公共事業になる。

問（市民）

県道三春・二本松線の芦木沼地内の歩道が一部未改良で危険である。側溝に蓋かけしてあるが、それでも危険である。

答 渡辺議長

このことは、以前から言われていた。県に引き続き要望活動する。なかなか進まない。基準や優先順位があるようだ。

③まちの賑わい創出について

問（市民）

日本宮町と合併して10数年経った。稲沢地区には何もない。市の方へ話をしたら稲沢地域は田園地帯と言われた。稲沢地域は工業地帯・住宅地帯・観光地でもない。市の職員に、田園地帯は何をやるところだと聞いてみたら、とろろ芋を作るところと言われた。それはそうだ、とろろ芋作りも悪くはない。人と車の往来がまったくない。店をやっているが、今日のお客は一人だった。経済活動がないからで、工場でも作らなければ人はいなくなる。ある人に五百田に一日立ってものを考えてみてはどうか、と言われた。市の担当者が来て、現状をみて考えてほしい。人が集まるような施策を考えてもらいたい。稲沢がなくなってしまう。市の職員には、みんなで一緒に考えましょうと言われた。

答 渡辺議長

何とかしてほしいと何度も言われている。どうしたらよいと思うか。みんなで知恵を出してもらいたい。田園地帯だからと言って悪くはないしダメでもない。それぞれの稲沢地域の地形・風土、特性を活かした理想のまちづく

りを考えるべきだ。合併して 11 年過ぎた。本宮駅前開発等の大きなプロジェクトに目途がついた。市当局は、周辺地域の活性化について本格的に考えると言っている。

問（市民）

県道本宮・三春線を明るくしてほしい。高校生の通学路であり、暗くて困っている。もっと明るくしてほしい。

答 渡辺議長

防犯灯については、去年から一体的に重点路線を毎年集中的に設置している。

問（市民）

まちに行くとクリスマスの電飾がものすごく美しくきれいだ。あの灯りを稲沢・松沢に持ってこられないか。

答 渡辺議長

市でやっているものではない。商店街振興会でやっている。

発言（市民）

以前に、稲沢ふれあい広場に老人ホームでも作ってみては、と言ったら、金がかかるから作れないと言われた。

問（市民）

市は工業団地を作るが、農業団地は作らない。稲沢地域に市営農場を作れば、これから農業をやってみたい人が稲沢地区の人に限らず、方々から人が集まると思う。

答 渡辺議長

どこでも農業専門者は少ない。

問（市民）

道路標識は県道以外には設置しないのか。

答 渡辺議長

そうではない。

問（市民）

市内をまわってみると、稲沢方面への標識がない。県道沿いの赤坂地内に小さいものが一つある。稲沢を知ってもらわないと発展しない。せめて、長屋の商店前に標識を付けてほしい。

答 渡辺議長

国道 4 号線を走行していても、本宮駅への標識もない。

問（市民）

社会教育に関すると思うが、しらさわグリーンパーク野球場のサッカー場の仮設住宅は撤去されると思う。立派なサッカー場である。公営サッカー

一場とうたっているが、どこにクレーコートのサッカー場があるのか。小・中学校の運動場ではない。

答 渡辺議長

以前、天然芝に張り替えた。仮設住宅の撤去後、来年の春に芝を張る予定で、来年1年間は芝を養生して、再来年は原形復旧で供用開始となる。

◇ 渡辺（忠）議員 閉会宣言

【午後8時30分閉会】